

くらしのお手伝い 情報掲示板

被災地から大阪へいらっしゃった方への特別なご招待・就労情報など、どんどん掲示していきます。

ご招待 通天閣特別御優待券

大阪のシンボル、通天閣の展望台へご招待いたします。特別御優待券をお持ちになり御来場ください。

所在地：大阪市浪速区恵美須東一丁目
営業時間：9:00～21:00 年中無休
※ご入場は終了時間の30分前(20:30)までです。

交通アクセス
JR環状線新今宮駅(徒歩10分)
地下鉄堺筋線恵美須町駅(徒歩3分)
地下鉄御堂筋線動物園前駅(徒歩10分)

※特別御優待券の有効期限は2012年6月30日までとなっております

ご希望の方は大阪市ボランティア情報センターまでご連絡ください。
電話番号：06-6765-4041

ご招待 大阪新世界 食べ歩きクーポン

新世界の名物、串かつ・どて焼きの食べ歩きができる引換券をご用意いたしました。「新世界食べ歩きPASS」(協賛：串かつ振興会)に地図・引換券・対象の店舗リストがございますので、ご希望の方は大阪市ボランティア情報センターまでご連絡ください。

電話番号：06-6765-4041

◎対象店舗リスト

- ・名代 鶴亀屋
- ・壱番
- ・横綱
- ・じゃんじゃん大西屋
- ・大西屋ジャンジャン横丁店
- ・串かつじゃんじゃん
- ・初代エビス
- ・朝日
- ・ヤマハチ商店
- ・壱番 別館
- ・串成
- ・なにわ八圓
- ・寅勝
- ・たこ焼番長

ご招待 中国料理 楓林閣

中国料理のバイキングとビール、ソフトドリンク等をご賞味いただき、中国の民族音楽の生演奏もお楽しみください。

日時：2011年6月16日
18:30～20:30
場所：大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-5-35
JR・地下鉄天王寺駅すぐ
近鉄南大阪線阿倍野橋駅すぐ

予約電話 06-6649-1055

ご参加希望の方は6月14日までに上記の予約電話に参加人数(大人・子ども)と氏名をご連絡の上、招待状のコピーを当日必ずご持参下さい。

ご招待 田辺寄席(落語会)へのご招待

地域に笑いをひろげて37年。人情と笑いの上方落語をぜひお楽しみください!

日時：6月18、19日
7月16、17日
会場：桃ヶ池公園市民活動センター(旧・阿倍野青年センター)

お問合せ：田辺寄席世話人会事務局
電話番号 090-6374-3536(大久保まで)

※開始時間、出演者などの詳細はHPをご確認ください。

交通アクセス
JR阪和線南田辺駅より徒歩5分
地下鉄谷町線田辺駅より徒歩7分

就労情報 「大阪府内の企業」で働きませんか?

東日本大震災で被災され、府内に避難されている方々へ朗報! 「大阪府内の企業」で働きませんか。まずはお気軽にご相談ください。

募集要項

対象：東日本大震災の被災地域において、居住または就業していた、求職中の方
雇用形態：受託事業者の契約社員
勤務場所：大阪府内の企業・団体など
就業開始日：随時
就業終了日：2012年3月まで
曜日・時間：週32時間以上かつ週4日以上(調整可)
時給：派遣先により個別に定めます
待遇：社会保険完備。通勤交通費別途全額支給、その他福利厚生サービス

お問合せ：株式会社パソナ パソナJOBフェニックス事務局
フリーダイヤル：0120-378-405
電話番号：06-6371-7030
ホームページ：http://www.pasona.co.jp/pr/jobphenix/
(受付時間：平日9時00分～17時30分)

株式会社インテリジェンス
電話番号：06-6343-2132
E-Mail：info-osaka2@inte.co.jp

就労情報 大阪市 ジョブアタック事業

チャレンジする(働きながら正社員を目指す)若者を応援します!

「大阪市ジョブアタック事業」は、未就業の若者(39歳以下)を人材派遣会社において派遣労働者として新規に雇用し、紹介予定派遣により大阪市内の中小企業に派遣して働きながらOJT(職場実習等)やOFF-JT(講義等)を通じて必要な知識と技能を習得させて就職につなげることを目的として実施しています。

お問合せ：大阪市しごと情報ひろば天下茶屋
TEL：06-6655-5791

※お問い合わせ時には、一言「ジョブアタック事業」とお伝えください。

東北と大阪を繋ぐ情報紙

創刊号：平成23年6月

IMONIKAI

いもにかい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター

住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX:06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会



創刊にあたって 平成23年6月 修田 翔(しゅうでん つばさ)
タイトルのIMONIKAI(いもにかい)は東北地方の名物行事、芋煮会のことです。様々な地域からいらっしゃった人々が鍋を囲み、あったか〜い会ができるよう、その架け橋となれるような情報紙を目指して発行していきたいと思っています。

第2回「がんばろう東北 住民のつどい」開催!!

平成23年6月12日、第2回目の「がんばろう東北 住民のつどい」が開催となりました。今回はヒルトン大阪の協力のもと、デザートバイキングや子ども向けのアトラクションなど、盛りだくさんの内容となっております。これを機にさらに親睦を深めていき、絆を深めていきましょう。

第1回の報告

参加者全員の自己紹介から始まり、ボランティア手作りの食事会、USJキャラクターによるショー、市民から寄せられた生活用品や家電製品、おもちゃを自由に選んでいただくフリーマーケットなどの楽しい企画から、法律や就労、地元県事務所による相談コーナーなど、幅広い内容となりました。



参加者からは「同じ県の人に会え、東北弁を聞いてよかった」「これだけ多くの東北人がいることを知って安心した」など、参加された被災者の方々は、お互いに連絡先を交換するなど、親睦を深めておられる様子でした。



みんな〜わたし、がんばってるよ。〜がんばるみなさんをご紹介〜

6月4日(土)に平野区で避難者支援イベントが行われ、ビンゴゲームやあさがこの種まきを通じて交流を深めました。その中で出会った、ママの加藤清恵さんと香澄ちゃん(10才)真依ちゃん(8才)瞳ちゃん(3才)の三姉妹。福島県南相馬市から大阪市東住吉区へ引っ越してきて、少しずつですが大阪の生活に慣れてきたそうです。

教えて!

「IMONIKAI」では毎号、大阪に避難されている方で、元気ががんばっている人をご紹介します。掲載ご希望の方はご連絡ください。



大阪弁も話せるようになり、元気で頑張っています。友達がたくさんできるといいです。 -清恵-

質問、ご連絡等は...



社会福祉法人大阪市社会福祉協議会大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618

≪利用時間≫
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00

≪休館日≫
日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始(12月29日～1月3日)
E-Mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

重要事項の申請について



監修：大阪弁護士会

お問い合わせは・・・
フリーダイヤル 0120-062-545
電話番号 06-6364-1248

受付時間
月曜～金曜
13:00～17:00

Q1 申請はお済みですか？
～被災者生活再建支援制度による支援金

災害で住宅が全壊するなど、生活基盤にいちじるしい被害を受けた世帯に対し、国から支援金が給付されます。（被災者生活再建支援制度）

支援金は
①基礎支援金（住宅の被害の程度に応じて支給）
②可算支援金（住宅の再建方法に応じて支給）
の2種類で、①と②の合計額が支給されます。
例えば、住宅が全壊し、新たに家を建てる場合、
基礎支援金100万円+可算支援金200万円=300万円
が支給されます。

基礎支援金は住宅の再建方法が決まっていなくても申請できますし、用途にも限定がありませんので、これだけでも先に申請してみてもいいのではないでしょうか。

詳しくは、大阪弁護士会ニュースをご覧ください。

Q1 申請はお済みですか？
～東京電力の仮払金

福島第一原発から半径30メートル圏内の避難住民と、計画的避難区域住人の皆さんに対し、東京電力から、一般世帯100万円、単身世帯75万円の仮払金が支払われます。

この仮払金は今回の原発事故で被害を受けた皆さんの被害金額の一部を、東京電力がとりあえずの補償金として支払うものです。

申請は郵送でも可能で、住民票等必要書類の一部は東京電力側が手配します。

詳しくは、大阪弁護士会ニュースをご覧ください。

Q3 亡くなった家族の借金は？

ご家族が亡くなった場合、相続が開始し、プラスの財産だけでなく、マイナスの財産（借金など）も相続人（配偶者、子など）が引き継ぐことになります。借金を引き継ぎたくない場合、家庭裁判所に「相続放棄」の申立（申術）をする必要があります。相続放棄の申立ができるのは、相続の開始を知った時から3カ月以内です。

なお、この期間内に、相続放棄をするかどうかが決まれない場合、家庭裁判所に、**申立期間伸長の申立**を行えば、申立の期限を先に延ばすことができます。どうしても悩む場合、伸長申立をしておきましょう。

詳しくは、大阪弁護士会ニュースをご覧ください。

大阪だより でっせ〜

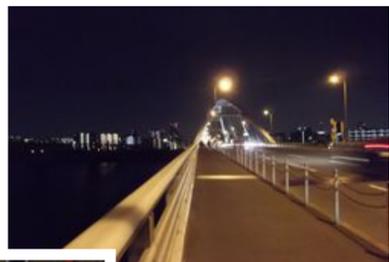
大阪市に転居した 福島人がつづる 浪速の街への想い

みなさん、大阪での生活はお慣れになりましたでしょうか。私は大阪へ移ってちょうど2カ月が経ち、昆布だしやウスターソースの味にも慣れてきたところです。どうやら私は「桜」にとっても縁があるようで、生まれた地である夜の森（福島県双葉郡富岡町）も、高校時代を過ごしたいわき市の松が丘公園も、今住んでいる柴島浄水場も、名だたる桜の名所です。引っ越してきた時期はちょうど満開で、新しい場所ながらも目になじむ光景にため息があふれました。



柴島浄水場の桜

最近私は運動を兼ねて、夜な夜なサイクリングを慣行しています。まずは家から大阪市の中心地に向かおう、と思い立ち、淀川を渡り、天神橋筋、梅田、大阪城・・・と大阪のキタといわれる所を駆け抜けました。特に印象に残ったのは、淀川にかかる長柄橋から見たビル群です。夜景が淀川の水面に漂う、とても都会的で洒落た風景に感動し、これがナニワの摩天楼か！など一人で盛り上がっていました。



長柄橋からの大阪の夜景



現在の住居

ここに来る以前、大阪という街は「商売人が多く、みんなコナモンを食べて、コテコテでド派手な街」という勝手な印象を持っていました。実際住んでみると「商売人・コナモン・コテコテの街」という印象は変わらずそのまま、そこに「人情味」が加わったとても素敵な街でした。商店街の中華屋さんで餃子を買ったときに、「もう冷めてもうたからおまけやで。」と値引きしてくれたことはすごく覚えています。なんだかあったかいなあ、とじんわり感動してしまいました。最初の印象が変わらない、わかりやすい街、というのも、住んでいる人たちの素直さがそのまま街に表れているんじゃないかな、と思っています。

人情と浪花節の街、大阪に感謝をこめて。 修田 翔（しゅうでん つばさ）

淀川河川敷



西淡路商店街



大阪市民の目

ようこそ大阪に。大阪に来られた被災者のみなさんに「WELLCOME」の意を表します。

今回の災害のような緊急時には、変化に弱い私たち日本人は戸惑うことが多いものです。いろんな体験や価値観を持った人が集まるので一般的に意思のずれが大きく浮き出ることもあります。例えば、支援ボランティアは一時も早く現地に行って活動をしたかったと思っていたけれど、現地では県外ボランティアは来ないでくれとか、個人ボランティアお断りなどが言われたりしました。先日某新聞の山形支局の記者から電話がありました。「救援物資の集積地であった山形にいろんなものが今も山と積まれているのだが、それをどうしたらいいか」という質問です。たくさんの市民の善意が集まった物資だけれど、例えば、冬物の衣料など保管の経費を考えると、処分した方がいいという意見もあるでしょう。

そうした意思のずれが、大阪に来られた被災の方とお手伝いをしたいと思っている大阪市民の間にも起こる可能性があります。市営住宅に入りたいという希望があっても、断われている人もいるはずですが、でも、放射能の子どもへの影響を考えて大阪へ避難してこられた方が多いということを考えると、子どもたちが健やかに育てほしいという気持ちは人として同じはず。そうした共通の思いを大切に、大阪での暮らしが少しでも安心して快適になるように応援したいと思います。

大阪市ボランティア情報センター所長 石田易司

全国避難者情報システムへは登録されましたか？

まだの方は、ぜひすぐにご登録ください。

東日本大震災等の被災者で大阪市へ避難された方が、ご本人の氏名等の情報を避難先の区役所にご提供いただくことで、避難される前にお住まいの県や市町村からさまざまなお知らせ（見舞金等の給付の通知や、税・保険料の減免等の通知など）を受け取ることができるようになります。

登録方法は簡単です。お住まいの区役所に備えている「避難先等に関する情報提供書面」（氏名、生年月日、性別、避難前の住所、現在避難している住所等）にご記入いただき、ご本人を確認できる書類を提示していただきます。

詳細については、大阪市役所（または各区役所）へお問い合わせください。

代表問合せ先：
大阪市役所 市民局市民部区政課住民情報グループ
電話番号：06-6208-7337

東北だよりだっぺ!

東日本大震災 被災地支援活動ボランティアバス

活動報告

平成23年4月19～23日
宮城県石巻市へ

行ってきました!

大型バスに乗り込み、宮城県石巻市へ40名のボランティアが復興支援に入りました。「自分たちにできることは何か」「どこまでできるのか」...ボランティア経験のない者も多い中、不安と緊張のスタートでした。



思いやり、支え合い

作業は家屋の泥だしや廃材の撤去など、力仕事も多かったのですが、参加者同士が自然と声をかけあい、仕事を分担するなどチームワークも自然な形でうまれました。

ボランティアバスから戻ったあとも、再度現地に入ったり、大阪で開催されている被災地支援のチャリティーに参加したり...連絡をとりあい、各自それぞれのできる復興支援の形を考えています。



被災地支援活動ボランティアバス第1便参加者 河崎友紀